

7/30(火) の発表



報道発表資料の配付日時

7/30(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	(速報) 感染性胃腸炎患者の発生について (週報) 腸管出血性大腸菌感染症患者発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 () 時 分~	発表者	
		発表場所	
概 要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について速報するもの)</p> <p>稚内保健所 保育所 13名 ノロ、アデノ ……別紙1</p> <p>◆週報 (腸管出血性大腸菌感染症患者発生について)</p> <p>江別、稚内、北見、紋別保健所 ……別紙2</p>		
参 考			

報道(取材) に当たっての お 願 い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	稚内、江別、北見、紋別保健所	

担 当 (連絡先)	<p>保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当:角)</p> <p>電話 (代 表) 011-231-4111 (内線25-506)</p> <p>(ダイヤルイン) 011-204-5253</p>		
--------------	--	--	--

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019年）7月30日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL：011-231-4111（内線：25-506）

FAX：011-232-2013

令和元年（2019年）7月29日（月）、稚内保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 探知

令和元年（2019年）7月23日（火）に、稚内保健所管内の保育所から、複数の園児が胃腸炎症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

稚内保健所管内の保育所の園児13名が、7月19日（金）から7月25日（木）にかけて、おう吐、発熱、下痢などの症状を呈し、うち3名が医療機関を受診し、治療を受けた。（入院した者はいない。）

3 現在の症状

7月30日（火）現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

7月19日（金）～7月23日（火） おう吐、発熱、下痢などの有症者発生
7月23日（火） 保育所から保健所に通報
7月29日（月） 医療機関、保健所及び衛生研究所において有症者のうち6名の便を検査した結果、1名からノロウイルス、1名からアデノウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

稚内保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、稚内保健所においても資料配付を行っています。
<報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。>

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中して発生するが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）

潜 伏 期 間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況（ロタウイルス除く） 7月30日（火）】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
件数（件）	206	210	138	150	179	182	137	111
有症者数（人）	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	2,282

*政令市（札幌市を除く）保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和元年（2019年）7月30日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL 011-231-4111(内線:25-506)

FAX 011-232-2013

令和元年（2019年）第30週（7月22日（月）～7月28日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ベロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

記

1 発生の概要

保健所	区分	性別等	発症日及び 主な症状	受診日	保健所 受理日	現在の状況	備考
江別	患者 (O157)	男性 (中学生)	7月21日(日) 発熱、腹痛 下痢	7月22日 (月)	7月24日 (水)	入院していたが、 症状は回復し、既 に退院した。	—
稚内	患者 (O157)	女性 (70歳代)	7月17日(水) 腹痛、血便	7月19日 (金)	7月22日 (月)	入院中であるが、 症状は快方に向か っている。	—
北見	患者 (O157)	男性 (20歳代)	7月17日(水) 下痢、腹痛	7月18日 (木)	7月23日 (火)	入院していたが、 症状は回復し、既 に退院した。	—
紋別	患者 (O157)	女性 (60歳代)	7月17日(水) 下痢、腹痛	7月19日 (金)	7月22日 (月)	入院中であるが、 症状は快方に向か っている。	—

2 対応

- ・ 家族等の健康調査及び便検査
- ・ 患者及び家族等の喫食調査
- ・ 家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3 その他

この件については、本日15時00分、管轄保健所においても資料配付を行っています。
 <報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

【参考】 腸管出血性大腸菌感染者の道内における発生状況（2019年）

7月28日（日）時点

区分	8	18	25	26	74	91	103	111	115	121	128	136	145	146	148	157	165	不明	合計
患者		1	1	11		1	1	1			1					35	1	2	55
無症状病原体保有者				7	1	7	1				1					7		6	30
計		1	1	18	1	8	2	1			2					42	1	8	85

(単位：人)

*政令市（札幌市・函館市・小樽市・旭川市）及び本日発表分を含む。

*全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)